

備前市施策評価シート

施策名 (小項目)	水源開発と水利用	コード	作成者	役職	上下水道部 水道課長
		01-01-08	金井 和字	氏名	0869-66-9791
				電話	このシート作成に要した時間 6.5 時間

この施策の アピール ポイント	豊富な水源から 清浄でおいしい水を 安定してお届けしています
-----------------------	--------------------------------

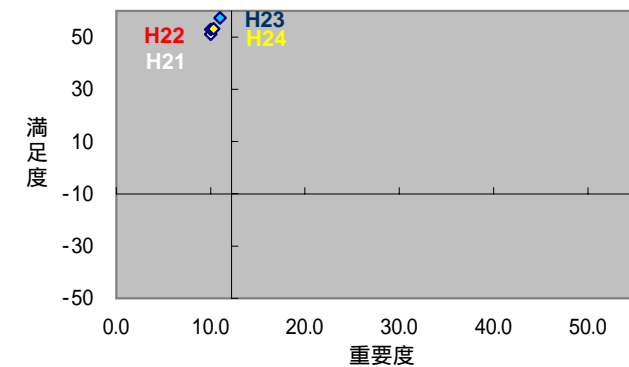
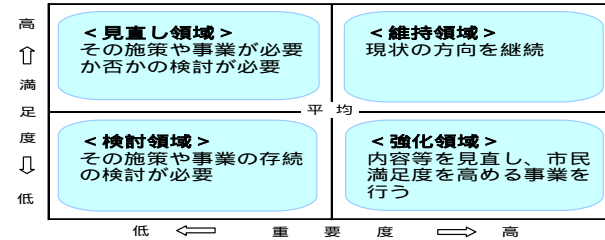
この施策の 平成23年度の 施政方針	記載なし
--------------------------	------

< 備前市総合計画の内容から記載する >

政策の体系	基本目標(大項目)	安全で快適に暮らせるまちづくり
	基本施策(中項目)	生活しやすいまちづくり
対象と目的 (誰のために、何のために)	市内の上水道利用者(一般家庭及び事業所・工場)に安全な水道水を安定供給できるよう、水資源の確保と水源施設の管理を行います。	
現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	備前・日生地区は吉井川を、吉永地区(一部)は金剛川を水源とし、その伏流水及び地下水を利用しています。過去数度の渇水時にも取水制限等をすることがなかったように、水資源としては恵まれています。 水道は、住民の健康で快適な生活と産業経済を支える社会の基本的な施設であるため、水利用者に対して、将来にわたり安全な水道水を安定供給しなければなりません。	
施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>水資源の安定確保</li> <li>水需要の拡大策と安定供給</li> <li>災害時の給水対応</li> </ul>	

市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H21	H22	H23	H24
重要度(%)	10.0	10.0	11.0	10.3
満足度(%)	51.0	52.9	57.3	53.1



調査結果に対するコメント、市民の反応等 〔調査対象でない施策は、市民の反応等〕	満足度では高く、重要度では平均を下回るという形で推移しています。重要度が低いのは、安定した供給ができていことことの証しであると捉え、ライフラインである「水道」の重要性は、十分に理解いただいていると思いますので、「蛇口をひねれば水が出る」という状態が当たり前であるよう引き続き努力します。
--	---

施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

成果指標	施策に対する成果指標名	単位	過年度実績			評価年度	成果指標の計算式の説明 ベンチマークの説明	目標値	
			H22	H23	H24			H24	H28
水質基準の適合率	目標	項目	50	50	50	安全性確保のための水道法に基づく水質基準 検査項目の適合率 【検査適合項目数÷対象項目数×100】	H24	100.0	
	実績	項目	50	50	50		H28	100.0	
	達成率	%	100.0	100.0	100.0		-	-	
	ベンチマーク						-	-	
水源余裕率	確保水量	m3	43,250	43,250	43,250	安定給水のための日最大配水量に対する水源 水量の確保割合(取水の余裕度) 【(確保水源水量÷日最大配水量-1)×100】	H24	100.0	
	日最大	m3	19,135	20,258	19,788		H28	100.0	
	余裕率	%	126.0	113.5	118.6		-	-	
	ベンチマーク		0%~120%				全国同規模(給水人口3~5万人)210団体の分布	-	-
自己保有水源率	目標	%	100.0	100.0	100.0	安定給水のための自己所有水源の水量に対す る取水の自由度 【(保有取水権水量÷全水源水量)×100】	H24	100.0	
	実績	%	100.0	100.0	100.0		H28	100.0	
	達成率	%	100.0	100.0	100.0		-	-	
	ベンチマーク						-	-	
配水池貯留能力	目標	日	1.0	1.0	1.0	需・給の調整と突発事故に備えるための配水 池の総容量が何日分あるかを示す。 【式:配水池総容量÷日平均配水量】	H24	1.0	
	実績	日	1.2	1.2	1.2		H28	1.0	
	達成率	%	120.0	120.0	120.0		-	-	
	ベンチマーク		0.5日以上				水道事業が「ライン」の業務指標	-	-

目標達成に必要な新規事業(裏面 施策構成事務事業以外の事業)及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果
岡山県広域水道企業団	水質管理事業	県内の水道用水供給事業を共同処理する目的で設立された企業団で、水源開発事業や共同水質検査等を実施している。

施策の評価

項目	評価	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い				
		判断理由(なぜ、そのランクと評価したのか)				
1	< 成果指標の妥当性 > 施策の目的・成果を表現しているか?	4	水道水として水質基準に適合させ、飲用に適した水を安定供給するための成果指標であり妥当である。			
2	< 事業構成の妥当性 > 手段は最適か?	3	水道水を安全に安定供給するための、事務事業構成として現時点では適当である。			
3	< 施策の有効性 > 指標分析、評価年度・中長期の達成見込みは?	3	安全な水質の保持、安定供給を前提とした水源の確保は、いずれもできており、今後も維持は可能である。			
進行年度(H24年度)の取組内容(課題解決状況)		浄水場の維持管理・安全衛生管理については、当面現状維持の中で効率的な事業運営に努める必要があるが、民間委託導入を含め更なる効率化に向けた検証を指示した。				
翌年度(H25年度)の取組目標		安全な水道水の安定供給の堅持と事業運営の効率化を進める。				
二次評価者コメント 役職 上下水道部長 氏名 石橋 雅之		高い満足度は、安定した水の供給ができていことことの現れです。重要度についても市民意識調査結果に関係なく高いことは明白であり、昨今の災害や非常事態でのライフラインの重要性を目の当たりにするとき、有事への対応を常に考えて業務に当たってください。また、経営の効率化、コスト削減に向けた委託部門の検討を行い、外部委託の導入について早急に検証を行ってください。				基本施策への 貢献度 <b>4 やや高い</b>

